

令和4年度 こども未来部 重点施策の実施結果

達成
状況

S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総 括

- ・第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し計画を作成しました。
- ・放課後児童クラブの運営の効率化や利用者の利便性向上を図るため、保護者との連絡アプリや児童台帳管理システムの導入を行いました。
- ・支援が必要な家庭について、関係機関と連携し情報共有や支援方針を検討し適切な支援に努めました。
- ・今年度から積極的勧奨が開始された子宮頸がんワクチン予防接種について周知・啓発を行いました。
- ・発達に心配のある子どもを、どの園でも同じ視点で発達の状況を見極めて支援していけるよう、発達支援技術の向上に努めました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	子育て支援の更なる充実 (こども政策課)	切れ目のない子ども・子育て支援が推進されるように、「第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画」に基づく各事業について進捗管理を行います。 また、「第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画」は中間年にあたるため、計画内容の見直しを行います。	第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し計画を作成します。	A	第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各事業の進捗管理・評価を行いました。 また、中間見直し計画を作成し、菊川市ホームページに公表しました。
2	幼児教育・保育の充実 (こども政策課)	放課後児童クラブの運営の効率化や利用者の利便性の向上を図るため、保護者との連絡アプリや児童台帳管理システムの導入を行います。	令和4年12月末までに保護者との連絡アプリ及び放課後児童クラブ児童台帳管理システムの導入を行います。	A	保護者との連絡アプリは、7月にシステム導入が完了しました。保護者と各放課後児童クラブとの連絡ツールが構築され、利便性の向上を図ることができました。 放課後児童クラブ児童台帳管理システムは、12月にシステム導入が完了し、児童入退所申請処理及び料金徴収等を一元化でき、運営の効率化を図ることが出来ました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
3	子どもの安心・安全の推進 (子育て応援課)	要保護児童や要支援児童、特定妊婦等へ適切な支援を行うため、要保護児童対策地域協議会（実務者会議）を毎月開催し、情報共有や支援方針を検討するなど、継続的な支援を行います。	要保護児童対策地域協議会（実務者会議）を月1回開催します。	A	支援や見守りが必要な児童や保護者などについて、児童相談所や学校関係者などと要保護児童対策地域協議会（実務者会議）を毎月1回開催し、情報共有や支援方針の検討を行いました。また、緊急を要するケースについて支援に遅れが生じないように対応に努めました。 専門部会における情報共有、協議件数（延） ・要保護児童・・・166件（昨年度実績193件） ※児童相談所取り扱いケース ・要支援児童、特定妊婦・・・887件（昨年度実績615件）※児童相談所案件ではないが支援が必要なケース ・要経過観察児童・・・361件（昨年度実績359件）
4	乳幼児・学童期予防接種事業の推進 (子育て応援課)	小笠医師会、掛川市、御前崎市等の関係機関との調整を行い、接種対象者等に個別の接種勧奨通知を送付するとともに、広報菊川や市公式ラインのプッシュ通知等による「積極的勧奨の再開」について周知を行います。	子宮頸がんワクチン予防接種についての周知・啓発（広報菊川への記事掲載など）を年2回以上実施します。	A	子宮頸がんワクチン予防接種に関する周知・啓発（個別通知、広報菊川への記事の掲載、公式SNSでの発信、ホームページの更新等）を年5回実施しました。 接種対象者のうち、未接種者及び接種未完了者については、今後、個別通知等で接種勧奨を行います。
5	発達支援事業の充実 (子育て応援課)	市内各園の保育教諭等を対象に発達支援の技術の向上にむけた研修会を開催します。 研修では、簡易発達検査の実施方法について学び、その効果や課題をまとめるため調査を実施します。	発達支援研修会の参加者に簡易発達検査の実施に関する実態調査を行い、今後の課題や研修会の評価をまとめます。	A	計画通り発達支援研修会を開催し、各園において1件以上の簡易発達検査を実施しました。実施後に簡易発達検査の実施に関する実態調査を行い、研修の成果や課題の分析を行いました。 今後も子どもの発達を促し、保護者が安心して子育てできるよう、関係機関と連携をしながら発達支援研修会を計画・実施していきます。